



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 シライ電子工業株式会社  
 コード番号 6658 URL <http://www.shiraidenshi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小谷 峰藏  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営企画・営業担当 (氏名) 亀井 正巳  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 075-861-8100

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,207	8.8	170		201		217	
2019年3月期第1四半期	6,808	1.7	39		85		269	

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 0百万円 ( %) 2019年3月期第1四半期 226百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	15.57	
2019年3月期第1四半期	19.25	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	21,975	3,080	13.3
2019年3月期	21,997	3,150	13.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,932百万円 2019年3月期 3,009百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		5.00	5.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	3.5	50		0		30		2.15
通期	29,000	1.3	350	3.3	150	45.5	50		3.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注)詳細は、(添付資料)7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	13,976,000 株	2019年3月期	13,976,000 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,413 株	2019年3月期	1,413 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	13,974,587 株	2019年3月期1Q	13,974,618 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、2019年8月中旬に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界の経済情勢は、米国は良好な雇用環境を背景に底固く推移したものの、欧州は英国のEU離脱をめぐる問題により不透明感がさらに高まり、中国におきましては米中貿易摩擦の拡大により景気減速が継続するなど、全体としては景気の下振れ感が強まりました。

わが国経済におきましては、雇用・所得環境の改善は継続しているものの、米中貿易摩擦拡大の影響から輸出や生産に弱さが見られ、全体的には力強さを欠く状況となりました。

プリント配線板業界におきましては、企業の海外生産シフトの影響による国内市場の縮小や国内外同業メーカーとの競争激化、加えて米中貿易摩擦拡大の影響に伴い市場の縮小傾向が見られるなど、業界全体としては厳しい状況が続いております。

このような状況のなか当社グループは、プリント配線板事業におきましては、国内外においてカーエレクトロニクス関連やエアコンを中心としたホームアプライアンス関連は堅調に推移したものの、それ以外の4分野（電子応用、通信・事務機器、デジタル家電、アミューズメント）につきましては、米中貿易摩擦拡大の影響による取引先の在庫調整等に伴い、売上高は伸び悩みました。また、透明コア技術を活用した新基板につきましては、国内工場での量産体制を進めているものの、本格的な収益への影響はまだ時間が掛かる見込みであります。検査機・ソリューション事業につきましても、米中貿易摩擦の影響により、中国を中心とした海外においてプリント配線板外観検査機（VISPERシリーズ）の販売台数が伸び悩みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,207百万円となり、前年同期比では600百万円（△8.8%）の減収となりました。

営業損益につきましては、製造原価や販売費及び一般管理費の圧縮に努めたものの、売上高減収の影響により170百万円の営業損失となり、前年同期比では131百万円の悪化となりました。

経常損益につきましては、持分法による投資利益の増加や為替相場の変動に伴い前年同期に発生した為替差損が為替差益に転換したものの、営業損益が悪化した結果、201百万円の経常損失となり、前年同期比では115百万円の悪化となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常損益は悪化したものの、前年同期に発生した過年度法人税等の発生は無くなり、また税金費用も減少となった結果、217百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失となり、前年同期比では51百万円の改善となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、21,975百万円（前連結会計年度末比21百万円減）となりました。その内訳は、流動資産が11,870百万円（前連結会計年度末比269百万円減）、固定資産が10,104百万円（前連結会計年度末比247百万円増）であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産につきましては、現金及び預金が106百万円、製品が127百万円、仕掛品が41百万円、その他が7百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が585百万円減少したことによるものであります。固定資産につきましては、有形固定資産が94百万円、投資その他の資産が165百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、18,895百万円（前連結会計年度末比48百万円増）となりました。その内訳は、流動負債が13,282百万円（前連結会計年度末比243百万円減）、固定負債が5,612百万円（前連結会計年度末比291百万円増）であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債につきましては、短期借入金が638百万円、その他が155百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が529百万円、電子記録債務が116百万円、1年内返済予定の長期借入金が176百万円、賞与引当金が158百万円減少したことによるものであります。固定負債につきましては、長期借入金が263百万円、その他が33百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,080百万円（前連結会計年度末比70百万円減）となりました。主な増減要因は、為替換算調整勘定は211百万円増加しましたが、利益剰余金が287百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表いたしました連結業績予想につきましては、特に変更はありません。今後万一、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに公表させていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,253	2,360
受取手形及び売掛金	6,233	5,648
電子記録債権	335	338
製品	1,890	2,017
仕掛品	588	630
原材料及び貯蔵品	391	419
その他	448	456
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	12,140	11,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,394	3,355
機械装置及び運搬具（純額）	2,382	2,537
その他（純額）	2,645	2,623
有形固定資産合計	8,422	8,516
無形固定資産	286	274
投資その他の資産		
その他	1,161	1,326
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	1,147	1,313
固定資産合計	9,856	10,104
資産合計	21,997	21,975

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,969	3,440
電子記録債務	1,175	1,059
短期借入金	4,629	5,267
1年内返済予定の長期借入金	1,912	1,736
未払法人税等	166	110
賞与引当金	307	148
その他	1,363	1,518
流動負債合計	13,525	13,282
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	4,022	4,285
退職給付に係る負債	593	587
資産除去債務	147	147
その他	357	391
固定負債合計	5,320	5,612
負債合計	18,846	18,895
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	1,506	1,506
利益剰余金	1,057	769
自己株式	△0	△0
株主資本合計	3,925	3,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	25
為替換算調整勘定	△894	△682
退職給付に係る調整累計額	△49	△48
その他の包括利益累計額合計	△916	△705
非支配株主持分	141	147
純資産合計	3,150	3,080
負債純資産合計	21,997	21,975

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	6,808	6,207
売上原価	5,831	5,375
売上総利益	976	831
販売費及び一般管理費	1,016	1,002
営業損失(△)	△39	△170
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	5	14
為替差益	—	22
その他	14	6
営業外収益合計	22	44
営業外費用		
支払利息	53	72
為替差損	5	—
その他	9	3
営業外費用合計	68	75
経常損失(△)	△85	△201
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産廃棄損	0	1
固定資産売却損	4	0
特別損失合計	5	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△90	△203
法人税、住民税及び事業税	47	9
過年度法人税等	114	—
法人税等調整額	11	△0
法人税等合計	173	8
四半期純損失(△)	△264	△211
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△269	△217
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	5
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△2
為替換算調整勘定	38	172
退職給付に係る調整額	2	1
持分法適用会社に対する持分相当額	5	39
その他の包括利益合計	37	211
四半期包括利益	△226	△0
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△230	△7
非支配株主に係る四半期包括利益	4	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を適用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。